

基本目標 IV 子どもが社会に参加するための環境をつくります

重点施策 1 子どもの権利を保障するための環境整備

主な施策展開 ①子どもの権利の啓発

A 成果 見直し	B 進捗状況
<p>いじめや児童虐待など子どもが健やかに成長していく上での様々な問題に対応するため、関係者が連携し、総合的に対応していく必要がある。</p>	<p>○人権啓発資料作成 様々な人権問題の正しい理解と認識を深めるため、広く市民や企業等に対して、啓発パンフレット、人権カレンダーなどを作成・配布している。</p> <p>○人権講演会 市民一人一人が人権を尊重し、人権問題に対する正しい理解と認識を深め、問題解決の意欲と実践力を培うため、講演会を開催している。 [参加人数] 22年度 600人 23年度 600人 24年度 650人</p> <p>○人権パネルの展示 区民まつりや区役所ロビー、人権啓発フェスティバルにおいて、人権パネルを展示し、市民の人権尊重意識の高揚を図っている。</p> <p>○人権標語の募集 小・中学生をはじめ広く市民から人権標語を募集・表彰し、優れた作品を啓発事業に活用している。 [応募作品数] 22年度 19,634点 23年度 18,736点 24年度 13,920点</p> <p>○人権啓発指導員の派遣 地域団体や企業等での人権問題研修に講師として派遣している。 [派遣回数・研修参加者] 22年度 121回・延べ6,253人 23年度 129回・延べ7,225人 24年度 112回・延べ6,835人</p> <p>○人権教育の推進 公民館を中心とする社会教育施設において人権教育講座を開催し、市民の人権に関する学習活動を支援している。 [参加者数] 22年度 延べ14,806人 23年度 延べ9,114人 24年度 延べ8,139人</p>

A 課 題	B 進捗状況
<p>子どもの権利条約の趣旨を踏まえ、大人が未来を担う子どもたち一人一人の権利を尊重するとともに、子どもにとって最善の利益は何かと考えて子どもの年齢及び発達段階に応じた支援を行うことの大切さを改めて認識し行動することが求められている。</p>	<p>○子どもの権利普及啓発事業</p> <p>子どもの主体性を尊重するため、子どもが運営する子ども参画型イベント（「旧日銀をあそぼう！～みんなでつくるワクワク空間～」）を開催している。また、児童虐待防止の意識啓発を図るため、当該イベントにおいて、パネル展示やオレンジリボンをつくるコーナーの設置を行っている。</p> <p>22年度来場者数 800人 23年度来場者数 1,500人 24年度来場者数 1,800人</p>

基本目標 IV 子どもが社会に参加するための環境をつくります

重点施策 1 子どもの権利を保障するための環境整備

主な施策展開 ②子どもに関する相談体制の整備

A 課 長	B 進捗状況						
<p>広島市子どもの生活と意識に関する調査（平成 21 年 10 月）によると、相談窓口を知らないと回答した小学生が 3 割を超えている。また、相談窓口に臨むことは、小学生、中学生、高校生とも、「どんな話でも聞いて、真剣に受け止めてくれる」、「困ったときにいつでも相談できる」などの回答の割合が高くなっている。</p>	<p>○ひろしまチャイルドライン（子ども電話相談）運営に対する助成 子どもたちの悩みを聞く大人が居ることが認識でき、子どもたちが生きる希望を持てるよう活動をしている特定非営利活動法人ひろしまチャイルドラインに補助金を交付している。 相談件数は、毎年約 9,000 件を推移しており、相談員の育成が急務となっている。</p> <table border="0"> <tr> <td>22 年度</td> <td>8,118 件</td> </tr> <tr> <td>23 年度</td> <td>8,069 件</td> </tr> <tr> <td>24 年度</td> <td>9,957 件</td> </tr> </table> <p>〔補助金の額〕 22 年度～24 年度 毎年 300,000 円</p>	22 年度	8,118 件	23 年度	8,069 件	24 年度	9,957 件
22 年度	8,118 件						
23 年度	8,069 件						
24 年度	9,957 件						

A 課 題	B 進捗状況						
<p>子どもの権利条約の趣旨を踏まえ、大人が未来を担う子どもたち一人一人の権利を尊重するとともに、子どもにとって最善の利益は何かと考える子どもの年齢及び発達段階に応じた支援を行うことが求められている。</p> <p>また、子どもにわかりやすく、子どもが安心して利用できる相談窓口が求められているとともに、複雑・多様化している、いじめや児童虐待など子どもが健やかに成長していく上での様々な問題に対応するため、関係者が連携し、総合的に対応していく必要がある。</p>	<p>○こども家庭相談コーナーの運営（再掲） 平成24年度から、安佐南区に子どもに関する総合窓口として「こども家庭相談コーナー」を設置し、子どもに関するあらゆる相談に対応するとともに、軽微な虐待ケースへの対応等を行っている。</p> <p>○青少年総合相談センターの運営（再掲） 幼児期から思春期までの心理や行動の問題など、青少年やその保護者等が抱えるあらゆる不安や悩み事相談に専門的立場から総合的に対応し、その改善・解決に向け、援助・支援を行っている。</p> <p>【相談件数】</p> <table border="1" data-bbox="576 629 1474 714"> <thead> <tr> <th>22年度延べ</th> <th>23年度延べ</th> <th>24年度延べ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7,364件</td> <td>7,191件</td> <td>7,083件</td> </tr> </tbody> </table> <p>○こころの健康相談（各区保健センター）（再掲） 保護者等を対象に保健センターにおける精神科医師等による相談を実施している。</p> <p>22年度 164回 23年度 156回 24年度 156回</p> <p>○こころの健康相談（広島市学校保健会）（再掲） 子どもの指導に悩みのある教職員や保護者を対象に専門医師等による相談を実施する。</p> <p>【相談件数】</p> <p>22年度 1,312件 23年度 1,425件 24年度 1,453件</p> <p>○地域子育て支援拠点事業（再掲） 各区の地域子育て支援センターにおいて、子育てに対する不安等の相談指導、子育てサークルの育成支援、親子ふれあい教室等の育児講座・地域子育て支援連絡会の開催、子育てリーダー等子育て支援者の養成・育成、子育て応援情報マップの作成による子育て情報の提供等を行っている。</p> <p>【子育て支援相談員登録人数】</p> <p>22年度 127人 23年度 127人 24年度 122人</p> <p>○家庭児童相談室（再掲） 子どもの問題で困ったり、悩んでいる親等に対し、各区保健福祉課に配置されている家庭相談員が相談に応じ、必要な助言指導を行っている。</p> <p>【相談件数】</p> <p>22年度 12,313件 23年度 16,531件 24年度 17,526件</p>	22年度延べ	23年度延べ	24年度延べ	7,364件	7,191件	7,083件
22年度延べ	23年度延べ	24年度延べ					
7,364件	7,191件	7,083件					

基本目標 IV 子どもが社会に参加するための環境をつくります

重点施策 2 子ども社会参画の促進

主な施策展開 ①子どもの意見反映に向けた取組の推進

A 成果 見直し	B 進捗状況						
<p>1 子どもが健やかな成長のためには、一人一人の子どもが、子どもの権利の意義・内容や重要性について理解し、自らの大切さについて認めることができるようになり、それを様々な場面における具体的な態度や行動に現わすことが求められている。</p> <p>2 広島市子どもの生活と意識に関する調査(平成21年(2009年)10月)によると、中・高校生の8割以上が自分の住んでいる地域が「好き」又は「まあまあ好き」と回答しているが、実際に地域で参加している活動や団体があるとの回答は、約2割にとどまっている。</p> <p>3 子どもが、自らに関わることについて、適切に情報を入手し、自由に意見を表明できるようにするとともに、地域において、ボランティア活動等子どもの自主的な活動を支援する必要がある。</p>	<p>○青少年健全育成強調月間(再掲) 毎年11月を「青少年健全育成強調月間」と定め、期間中、市、各区役所、教育委員会、青少年健全育成連絡協議会が中心となり、市・区青少年健全育成大会や、小・中学生等の意見発表会など、青少年健全育成のための各種事業を集中的に実施している。 [参加者総数]</p> <table border="1" data-bbox="568 629 1481 719"> <thead> <tr> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>約5,300人</td> <td>約5,700人</td> <td>約6,700人</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ボランティア活動の推進 広島市社会福祉協議会が、学校、地域社会、企業、団体を対象として、福祉活動体験学習を行い、福祉教育を推進している。</p> <p>(1) やさしさ発見(福祉活動体験)プログラム事業 学校(小・中・高校)や企業、団体等を対象に実施した。 22年度 プログラム実施件数163事例、参加者総数19,497人 23年度 プログラム実施件数167事例、参加者総数19,085人 24年度 プログラム実施件数162事例、参加者総数19,809人</p> <p>(2) 広報・啓発活動 やさしさ発見プログラムガイドブック、車いす利用者・視覚障害のある方・聴覚障害のある方とのコミュニケーションハンドブック、ヤングボランティアスクール共通リーフレットを発行し、広報・啓発活動を行った。</p>	22年度	23年度	24年度	約5,300人	約5,700人	約6,700人
22年度	23年度	24年度					
約5,300人	約5,700人	約6,700人					

基本目標 IV 子どもが社会に参加するための環境をつくります

重点施策 2 子どもの社会参画の促進

主な施策展開 ②子どもの自主的な活動への支援

A 課題 見直し	B 進捗状況
<p>広島市子どもの生活と意識に関する調査（平成21年10月）によると、中・高校生の8割以上が自分の住んでいる地域が「好き」又は「まあまあ好き」と回答しているが、実際に地域で参加している活動や団体があるとの回答は、約2割にとどまっている。</p>	<p>○子どもの遊び場づくり事業（中区）（再掲） 地域団体、公民館、児童館などと連携し、公園などを利用した外遊び、伝統的な遊びの伝承など子どもたちが自主的・自発的に遊びや生活文化を創造できる環境づくりを推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・22・23年度 （児童館実施分） 7児童館で公園等を利用した外遊びや伝統的な遊びの伝承を実施 平成22年度 参加者数 401人 平成23年度 参加者数 406人 （公民館）実施分 竹屋公民館で「たくましい広島っ子養成講座」を実施 平成22年度 13回、延べ420人 平成23年度 15回、延べ414人 <p>○子どもまつりの開催（中区）（再掲） 子どもたちに様々な体験の場を提供するとともに、子どもに関係する団体が交流・連携することによって社会全体で子育てを支援する環境をつくることを目的に実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・22年度 来場者数 23,000人 ・23年度 来場者数 22,000人 ・24年度 来場者数 22,000人

A 結果 見直し	B 進捗状況																				
<p>子どもが、自らに関わることについて、適切に情報を入手し、自由に意見を表明できるようにするとともに、地域において、ボランティア活動等子どもの自主的な活動を支援する必要がある。</p>	<p>○高校生保育ボランティアの活動支援（再掲） 青少年センターの高校生保育ボランティアグループ「クローバー」が実施する保育園や乳児院等での実習や自主活動について、支援スタッフとともに指導助言を行っている。</p> <p>22年度 参加者数延 366人（20回開催） 23年度 参加者数延 190人（21回開催） 24年度 参加者数延 173人（23回開催）</p> <p>○冒険遊び場事業（平成24年度まではモデル事業として実施）（再掲） 平成22年度から平成24年度までの3年間、モデル事業として、下表のとおり冒険遊び場を開催するとともに、平成23年度に冒険遊び場づくりの運営の中心となる指導員の養成講座を開催した。</p> <p>上記モデル事業の実績を踏まえ、平成25年度から寺山公園（安佐北区）と中央公園（中区）を基幹パークとして事業を実施している。</p> <table border="1" data-bbox="555 815 1513 1323"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>安佐北区（寺山公園）</th> <th>中区（中央公園）</th> <th>東区（牛田総合公園）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>22</td> <td>常設化に向けた試行 7～12月 週3回開催（51日） 延べ1,172人（子ども）</td> <td>イベント的開催 11月に1回（2日） 延べ415人（子ども）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>23</td> <td>常設化に向けた試行 通年 週3回開催（142日） 延べ5,317人（子ども）</td> <td>常設化に向けた試行 9か月 月2回（16日） 延べ564人（子ども）</td> <td>イベント的開催 11月に1回（2日） 延べ536人（子ども）</td> </tr> <tr> <td colspan="4">「指導員養成講座」の開催 9月～12月（計4回講座） 受講人数34人（うち全課程修了者16人）</td> </tr> <tr> <td>24</td> <td>常設化に向けた試行 通年 週3回 延べ7,342人（子ども）</td> <td>常設化に向けた試行 通年 月2回（27回） 延べ997人（子ども）</td> <td>イベント的開催 11月に1回（2日） 延べ253人（子ども）</td> </tr> </tbody> </table> <p>○広島地球ウォッチングクラブ事業（再掲） 市内で環境保全活動を行う3歳から高校生までの子どもたちのグループに対するサポートや地域の自然観察会等の行事を実施する。</p> <p>〔登録グループ数（人数）〕 22年度末 27グループ（386人） 23年度末 26グループ（366人） 24年度末 32グループ（511人）</p> <p>○アースキッズ・プロジェクト（再掲） 自主的に環境学習を行っている子どもたちとその指導者を対象に、宿泊体験を含めた総合的環境教育プログラムを実施した。（公募提案型協働モデル事業22年度採択事業）</p> <p>〔参加者（人数）〕 23年度 12人 24年度 24人</p>	年度	安佐北区（寺山公園）	中区（中央公園）	東区（牛田総合公園）	22	常設化に向けた試行 7～12月 週3回開催（51日） 延べ1,172人（子ども）	イベント的開催 11月に1回（2日） 延べ415人（子ども）		23	常設化に向けた試行 通年 週3回開催（142日） 延べ5,317人（子ども）	常設化に向けた試行 9か月 月2回（16日） 延べ564人（子ども）	イベント的開催 11月に1回（2日） 延べ536人（子ども）	「指導員養成講座」の開催 9月～12月（計4回講座） 受講人数34人（うち全課程修了者16人）				24	常設化に向けた試行 通年 週3回 延べ7,342人（子ども）	常設化に向けた試行 通年 月2回（27回） 延べ997人（子ども）	イベント的開催 11月に1回（2日） 延べ253人（子ども）
年度	安佐北区（寺山公園）	中区（中央公園）	東区（牛田総合公園）																		
22	常設化に向けた試行 7～12月 週3回開催（51日） 延べ1,172人（子ども）	イベント的開催 11月に1回（2日） 延べ415人（子ども）																			
23	常設化に向けた試行 通年 週3回開催（142日） 延べ5,317人（子ども）	常設化に向けた試行 9か月 月2回（16日） 延べ564人（子ども）	イベント的開催 11月に1回（2日） 延べ536人（子ども）																		
「指導員養成講座」の開催 9月～12月（計4回講座） 受講人数34人（うち全課程修了者16人）																					
24	常設化に向けた試行 通年 週3回 延べ7,342人（子ども）	常設化に向けた試行 通年 月2回（27回） 延べ997人（子ども）	イベント的開催 11月に1回（2日） 延べ253人（子ども）																		

A 課 題	B 進捗状況
<p>子どもが、自らに関わることについて、適切に情報を入手し、自由に意見を表明できるようにするとともに、地域において、ボランティア活動等子どもの自主的な活動を支援する必要がある。</p>	<p>○広島キッズシティ開催負担金</p> <p>子どもの自主性を高め、子どもの社会参画を推進することを目的として、広島青年会議所、県、報道機関等との共催で、子どもが主役となる街をつくり、職業体験を中心とする事業を実施している。</p> <p>23年度 開催期日 11月19日(土)・20日(日) 開催場所 広島西飛行場(駐車場) 来場者数 5,200人</p> <p>24年度 開催期日 10月7日(日)・8日(月・祝) 開催場所 中央公園(自由広場) 来場者数 9,250人</p>